

| 若手研究者育成グラント | | 京阪神スタートアップ アカデミア・コアリション 起業活動支援プログラム(GAPファンド) | | |
|----------------|---|---|--|--|
| 目的 | 革新的な技術シーズについて、実用化に向けて解決すべき課題の明確化と課題解決の可能性を検証し、専門人材によるメンタリングも実施する | | 競争力の高い大学発ベンチャーを連続的に創出し、関西地区のイノベーションエコシステム形成に寄与する | |
| 募集期間 | 令和3年4月19日～5月10日 | | 令和3年4月19日～5月24日 | |
| 申請資格 | 教職員(40歳未満※1) | 教職員 | 修士以上の学生※2 | |
| 対象分野 | 全研究分野 | 人文社会系 | 全研究分野 | |
| 助成金額 | 上限10百万円 | | | |
| 助成期間 | 令和3年6月頃～令和4年3月31日 | 令和3年8月23日～令和4年3月31日 | | |
| 資金使途 | <ul style="list-style-type: none"> 人件費(研究員) 試作開発費 実装データ取得費 物品費(設備備品※3・消耗品) 等 | | <ul style="list-style-type: none"> 試作開発費 実装データ取得費 物品費(設備備品※3・消耗品) 等 | |
| イメージ | <ul style="list-style-type: none"> 技術シーズの妥当性 将来市場規模 ベンチャー起業意思 事業への適応性(含むビジネスモデル) 開発計画のフィジビリティ | | | |
| 選考の観点 | <ul style="list-style-type: none"> 研究成果・技術シーズの妥当性 将来市場規模 ベンチャー起業意思 事業への適応性(含むビジネスモデル) 開発計画のフィジビリティ | | | |
| 選考会※4・5 | 令和3年5月20日 | 令和3年6月1日 | | |
| 選定件数 | 6件程度 | 5件程度 | | |

※1：令和3年4月2日時点

※2：指導教員と相談の上、承認が得られた学生のみ

※3：起業に向けた開発及び事業化活動を遂行するために必要な設備・物品等の購入、製造、又は据付等に必要な経費。基礎研究用途のものは認められません

※4：応募多数の場合は、事前に書類審査を実施します

※5：起業活動支援プログラムに採択されるには、6月1日の学内の選考会(1次審査)後に、京阪神スタートアップ アカデミア・コアリションにおける書類審査(2次審査)・面接審査(7月12日・13日)を合格する必要があります